

教育委員会（10月定例会）会議録

- 1 開催期日 平成29年10月2日（月） 13時30分 開会
- 2 場 所 中央公民館第3研修室
- 3 本日の会議に出席した委員の氏名は次のとおりである。
 - ・ 教育長 宮内 浩二郎
 - ・ 委 員 黒木 敏行
 - ・ 委 員 今村 博美
 - ・ 委 員 屋敷 和久
 - ・ 委 員 今村 一枝
- 4 本日の会議に説明等のために出席した職員の氏名は次のとおりである。
 - ・ 教育課長 渡具知 実
 - ・ 教育課長補佐 恒吉 正昭、山田 正人、西山 雄治
 - ・ 教育課職員 原田 誠、戸高 志織、井上 千里（記録）
- 5 前回の会議録の承認 今村 博美 委員（9月定例会）
- 6 会議録署名委員の氏名 今村 一枝 委員
- 7 行事報告 9月行事
- 8 本日の会議に付議した事項は次のとおりである。
 - ① 可・否・続・同) 議案第17号 準要保護児童生徒の認定について
 - ② 可・否・続・同) 議案第18号 文化賞等被表彰者の決定について
- ★ 委員協議
 - ① 新学習指導要領の円滑な実施のための計画案について
 - ② 全国学力学習状況調査結果の公表
- ★ 報告
 - ① 生徒指導状況について
 - ② 教職員の交通事故・交通違反に対する措置について
 - ③ 9月定例議会の結果について
- ★ その他
 - ① 教育委員および社会教育委員の合同研修会について
 - ② 教育に関する外部評価の実施について
- 9 行事予定 10月行事
- 10 閉 会
 - ・ 次回定例会 期日：平成29年11月1日（水） 13時30分～15時
 - 場所：中央公民館第3研修室

教育長	あいさつ 昨日は小学校の運動会が開催。暑い日だった。おとといは中学校の南九州駅伝がおこなわれた。男女とも三股中が優勝した。現在秋季大会（地区大会）が開催されている。
教育長	前回の会議録の承認を今村博美委員へ承認する
教育長	次回会議録署名委員に今村一枝委員を指名する
渡具知	<p>【行事報告】</p> <p>9月行事について資料に基づき報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2日 自主文化事業「フシオン デ ラ パシオン」公演 158人入場者 ・ 3日 自主文化事業「執活」公演 41人 ・ 4日 教育委員会9月定例会 ・ 5日 9月議会開催 22日まで ・ 10日 中学校運動会 ・ 13日 三股町文化賞等選考審査会（文化会館） ・ 18日 みまた座館外研修「かどっこ」の公演観劇・交流（門川町）14人(こども10人、保護者4人) ・ 23日 スポーツ少年団運動会中止 ・ 24日 小学校運動会（梶山小、長田小） ・ 同日 自主文化事業「クラシックはドラマティック」公演 152人入場者 ・ 27日 9月臨時会 ・ 28日・29日 広島県熊野町視察（教育長） ・ 29日 都北地区公民館ブロック別セミナー兼社会教育委員連絡協議会研修会 ・ 30日 ふるさと発掘埋文キャラバン展示開始。10月29日まで ・ 30日 南九州中学校駅伝競走大会
教育長	行事内容について質問等を求める。
教育長	28日からの幼保小の視察について 広島県熊野町の人口規模は三股とほぼ同じ、盆地で、小学校4校、中学校2校がある。筆の製造が主な産業で、小学1年生から書道の授業がある。全国でも広島県は学力が高いが、熊野町は県内でもトップクラス。学校の規模は小さいところは100人くらいから、大きくても500人、学校区はなくどの学校に通ってもよい。
恒吉	<p>【付議事項】</p> <p>議案第17号 「準要保護児童生徒の認定について」 今回1名の申請があり、条件付きの3ヶ月認定。</p>
教育長 委員一同	議案第14号について承認を求める。 承認する。
教育長 渡具知	議案第18号 「文化賞等被表彰者の決定について」の説明を求める。 資料に基づき9月13日に行われた選考審査会の結果について説明。 2個人、2団体の表彰を決定した。
教育長 委員一同	議案第18号について承認を求める。 承認する。
教育長	<p>【委員協議】</p> <p>① 新学習指導要領の円滑な実施のための計画案について（継続協議） まず、これまでの協議をとりまとめてみる。</p>

	<p>学習集団の適正化というテーマで、長田小に講師を町費で増員して、学年ごとの単式指導の形態となってから10年が経過したことを期に、その成果を検証した。明確な関連性は導き出せていないが、少なくとも成績には効果が反映されていない。小さすぎる学習集団がよくない傾向がみられる。</p> <p>これらを総括して学習集団は8人を最低限にしたほうがよいと考えている。</p> <p>複式指導についても調査を行った。都城市は複式指導を継続している。少なくとも県下において、小規模校はほとんどが複式指導である。都城市だけでも9か10校は複式指導の学校がある。成績は、複式校がトップの年もあれば、最下位の年もあり、複式だからといって、成績が悪くなることも、良くなることもない。</p> <p>少人数のためその年度の児童・生徒の個人差が大きく影響するのだろう。複式指導と成績の関連性は、都城の状況だけでは判断できないのも事実だ。</p> <p>学術機関の研究結果を紐解くと、学習集団があまり少ないと、かえってよくないという結果がほとんどだ。20人前後が一番良いという結論が多い。</p> <p>三股町では、複式指導は良くないだろうという単純な思い込みから、完全な単式指導・単式学級にしたことに問題があったのではないかと。県内で複式指導を解消するために教員を増員している学校も10市町村以上あるが、ごく少人数の単式指導・単式学級とするのではなく、学級としては多学年が一緒にまとまっており、その学級に副担任をつけ教科により学年で分かれて単式指導を受けている。</p>
<p>今村博美委員 教育長</p>	<p>副担任は教頭か。</p> <p>基本は講師が副担任となる。三股町としても、副担任制を導入していく方向にもっていききたい。</p>
<p>今村一枝委員 教育長</p>	<p>1年生は担任が授業をし、2年生は副担任がするのか</p> <p>担任は教科によっては複式指導で学級全員を指導する。また、教科によってはこれまでどおり単式指導として、担任・副担任がそれぞれ学年別に指導する。これまでどおり補助教員は必要だが、人数はある程度削減できる。</p>
<p>今村博美委員 教育長 今村博美委員</p>	<p>教頭先生は授業には入らないのか。</p> <p>副担任にはつかないが、教科によっては授業を受け持つ。</p>
<p>今村博美委員 教育長</p>	<p>少数だが地域の人に色々聞いてみた。とどのつまり保護者がどう思うかではないかとゆう意見であった。複式学級という言葉に嫌悪感はないようだった。逆に児童が少ないのはかわいそうという意見があったが、児童数が少ないのはどうにもならないとも言っていた。</p>
<p>今村博美委員 教育長</p>	<p>地域が要望して、せっかく複式学級が解消できたのに元にもどるのでは、という懸念があるかもしれないが、そうではない。</p> <p>複式学級の解消事業は発展的に解消し、副担任制を導入する。複式指導という言い方はどうか。</p>
<p>恒吉 戸高 教育長 原田</p>	<p>指導だと生徒指導のイメージがある。複式授業という言い方はどうか。</p> <p>副担任制のほうがよい。複式イコール複式学級イメージがある</p> <p>どのような呼び方がよいか。</p> <p>中学校で1人の教師が2クラスの副担任を担当する場合があります、学級担任のサポートをするイメージである。今回の場合においても二つの学年がいっしょになるので、担任は一人では大変なので学習指導や生徒指導をサポートするという考え方はどうか。</p>
<p>恒吉 原田</p>	<p>小さな学校に副担任がつくのはどうしてと思われるのではないかと。</p> <p>串間市、小林市教委などでいくつかの市町村では、複式の学校に学力向上のための補助教員として副担任制を導入している。</p>
<p>今村一枝委員 戸高 今村博美委員</p>	<p>私個人はわかるが、わからない人はどうしてと思うのではないかと。</p> <p>長田の人も複式が解消されているのを知らない。</p>
<p>今村博美委員 教育長</p>	<p>P T Aをやっている人は知っている。不公平だ。との声がある。長田だけ手厚くしている。ひるがえって、長田の人からすれば、納得できること。</p> <p>人をつけて複式を解消しているのを知らない。長田の子に手厚く感じる。その分、他の部分の予算は少なくなる。</p>

今村一枝委員 山田	余った分は、教育目的で再配分してほしい。 地元の間人として当時から複式に対して悪いイメージをもっていたように思う。そこで、保護者や住民あげて、複式を解消するための取り組みをして、今のような結果となった経緯があると聞いている。複式はわるいものではないと認識した。事実であるので複式という言葉を使ってもいいのでは。複式に手厚くする、新たな複式学級として、説明すればよいと思う。ただ、複式イコール廃校に繋がるのではという認識もある。
恒吉	過去の政策で過疎対策を実施したときに、キーワードとして複式解消をつかってしまい、悪いイメージがついた。
山田	地区座談会などでOBたちが必ず「学校を廃校にしないんですね。」と聞いている。それとは違い、複式学級が廃校につながるのではなく、こういう風にするのととてもよいものだと説明するといいいのではないか。新しい考え方だと話すといいいのでは。
戸高	スクールバス導入の説明会のときから、統廃合ではないからスクールバスを走らせていると話している。また今スクールバスで長田小梶山小に通っている児童の保護者の感想として、児童が少なすぎるのはどうかと思う反面、子どもが通うことで何かの役に立っているという気持ちがあると聞く。
山田	「梶山長田にどうしてそこまで厚く手当しないといけないの。」という声があるのは認識している。
恒吉	この対応は来年度からやりたいが、地域への説明を含め、学校統合に向けさせないための取組には時間がかかるので、イメージ戦略で時間をかせぐ必要がある。
屋敷委員 戸高	スクールバスで西小から梶山長田に行く児童は増えそうか。 新1年生の保護者で長田小や梶山小に行かせたいという親がたくさんきている。小規模校が子どもの特質にあっているという意見も多いが、反面児童数が少なすぎるのはどうかという意見も聞く。就学時検診時に問い合わせが多い。
屋敷委員 戸高	保護者の反応が良いという話は聞いている。問い合わせは、結構あるようだ。 いいかたちでメッセージが広がり、夢のある学校経営できればいいことだ。オープンスクールに向けて梶山・長田はとともがんばっている。就学時検診のときに三股西小の保護者は人数の多さを実感し、驚愕してオープンスクールへの問い合わせがくるという流れができています。
教育長	とりあえず確認としてまとめる。 ・当面の対応として、学年単独の学級の最低児童数は8人、小学校に副担任制を導入。 ・そのことにより教育予算の適正配分を目指す、教育予算全体としては減らさない。
教育長	つづいてプログラミング教育への対応について。 《資料により説明》
屋敷委員	子どもは何にでも対応できるが、先生たちの研修が必要。先生たちのやり方対応で学力も伸びるのではないか。
教育長 恒吉	学校の先生に助言指導ができるのは、指導主事しかいない。増員を求めている。 プログラミング思考の指導には生徒用タブレットPCと支援システムが必要である。平成31年度でタブレットPCを4人に1台程度配備させたいと計画している。
屋敷委員 教育長	先進地に視察に行く予定はあるか。 よその世界を見るのは大きい。お金の使い方、考え方が違う。
教育長	次に学校図書館の充実について。 《資料により説明》
教育長	国の学校図書館図書整備等5か年計画があり、学校への新聞配備の点が記されている。小中それぞれ、配備数の目安がある。学校での新聞の配置はどうか。
井上	中学校は2紙、小学校は1紙、本とは違い消耗品での購入。増やすとなれば、消耗品費から支払うことになる。
屋敷委員	新聞でなくても、タブレットPCでニュースに触れることはできるのではないか。読書量という点では効率的ではないか。

教育長	電子機器では自ら探してそこにはいっていけば、見ることはできる。ところが新聞にはセレンディピティ（すてきなものを偶然見つける）がある。とでも大事なことで、新聞のよさがここにある。国は学校に新聞を配備することについて、交付税で予算をつけている。今後予算の確保をお願いしたい。
教育長	次に学校図書館への司書の配置について。
戸高	三股における読書活動と学力について説明をお願いする。 《資料により説明》
教育長	国などの調査によると、読書の好きな子は、全体において学習能力が高く論理的思考ができる。深い学びの傾向があり、気付き・発見も得意とする結果がみてとれる。
戸高	三股町では、3校について図書館に人員をつけている。その点についても説明をお願いする。
教育長	現在3つの学校の図書館に人員がそれぞれ1名配置されている。司書の資格がなく事務補助、パートで入っているため具体的な仕事の内容・管理の仕方がわからない状況にある。雇用期間も短く、仕事になれた頃に離職してしまう。
屋敷委員	案としてこれを委託者2名にしたうえで、各学校に日時を決めて分散勤務してもらおう。人的体制とあわせて、学校図書館を充実させ機能を高めたい。
戸高	3名のパートさんは資格がないとのことだが委託の2名は資格を持った人を考えているか
教育長	できれば資格のある人をと考えている。
今村博美委員	パートだと半年でかわることもあり、計画的な学校教育が実施できない。委託契約であれば3年間は継続雇用できるので、長期的な計画もできる。ただし、委託契約者2名のほうが、パートタイム雇用3名より費用はかさむ。
教育長	町の図書館に勤務する司書の方々から派遣するということではできないのか。図書館は図書館の業務があり、現状で余剰人員がいるわけではなく、人を増やさないと難しい。
黒木委員	児童館で読書に結びつくような活動はできないか。
教育長	三股小、梶山小は学校と隣接しているので、図書室を利用できればそういった効果も期待できるかもしれない。
今村博美委員	子どもが進んで本を読むのであれば、司書の仕事も本の整理だけでよいのだが。実際には、家庭で親が本を読んでいる姿がないことが一番影響があるのではないか。本を読まない親が、子どもに本を読めといっても効果がない。家庭で本を読みましようとして町全体の取組として呼びかけていかないと、子どもの読書量は上がらないのではないか。
教育長	熊野町という町ではそれをやっていると聞く。親も子どもと同じ本を読まないといけない。熊読カレンダーなどの取り組みで読書環境が整っているようだ。熊野町のことは次回以降の会で、詳しく紹介したい。
教育長	《下記の事業は資料提示のみ》 ・社会に開かれた教育課程の実現 ・子どもの明るい未来創造事業の推進 ・文教みまたフェスティバル
教育長	次に教員の働き方改革について。 「学校における働き方改革に係る緊急提言」に勤務時間を意識した働き方を進めるとあるが、教員は勤務時間を意識せず仕事をしている。
屋敷委員	意識させるために勤務時間についてパソコン等を活用して記録することを考えている。
教育長	学校の先生は週40時間勤務なのか。残業手当はつくのか。 教職調整額がついているので、残業手当はない。

教育長	関連して、給食費等の学校徴収金に係る業務について。
渡具知課長	「給食費等の学校徴収金を教員の業務としないよう努めること」とあるが、これも教員の負担が大きい。口座引落で徴収できる分はいいが、未納があった場合に学校で督促を処理するとなると担任が大変である。町がその業務を担ってもらうとありがたい。
教育長	給食費については、平成 30 年度に国の学校給食費の会計業務に係るガイドラインの検討・策定が行なわれる。次の動きがあったら報告したい。
教育長	計画案として取りまとめる。
教育長	教育の質を高めるため教頭を経験した主任指導主事を 1 人増、ALT 2 名増、クレームに対応するスクールサポーターなどの配置、学校司書、複式解消補助教員もふくめ、統合教育会議にて協議を深めたい。
教育長	《委員協議□ 全国学力学習状況調査結果の公表については機微情報につき割愛》
教育長	【報告】
原田	① 「生徒指導状況について」の説明を求める。 《資料により説明、内容は個人情報を含むため割愛》 不登校、いじめ、暴力、非行等の状況について説明。
教育長	② 教職員の交通事故・交通違反に対する措置について 《資料により説明、内容は個人情報を含むため割愛》
教育長	【その他】
山田	① 「教育委員及び社会教育委員の合同研修会について」の説明を求める。 一昨年から実施している合同研修会を今年も実施したいと考える。町外の先進地での研修か、町内の事業にするか、迷っている。日程も案として 11 月 24 日で調整したい。また、研修会の場所を町外の先進地か町内にするかご意見を伺いたい。 《次回の定例会までに方向性を決めるとなった》
教育長	② 教育に関する外部評価の実施について説明を求める。 まず、外部評価を受けるための自己評価を行い、それをもって昨年と同じく礮所氏に評価をお願いします。11 月の定例教育委員会会議で報告し、最終的には町の 12 月議会で報告できるように進める。
恒吉	③ 運動会について何かないか。
教育長	宮村小が 100m 走の表彰で、子どもが主役として、子どもが台に乗って表彰されたのはよかった。全校とりくんでもいいのでは。
今村博美委員	梶山小も同様でした。
今村一枝委員	自分も勝岡小学校の運動会で子どもを台に乗せて表彰するようにした。オリンピック方式で良いと思う。全校で同様の対応も提案してみる。
教育長	三股西小は、混乱しない工夫がしてあり、保護者の動き、子どもたちの動きも整然としていた。6 年生がよく動き指導していた。万歳三唱を急に頼まれたが、事前に地域の勇志をお願いしたほうがよいのではないか。
黒木委員	以前、三股西小は、ゴール近くに 100 人近く来て混乱していた。その後対応したのだと思う。万歳については、三股中学校は前日に連絡があった。事前に連絡するよう学校に話しておく。
教育長	【報告】として 9 月定例議会の結果について 教育課には 2 つ質問があった。ひとつは、学校に入る前の教育環境づくりのとらえかたで、幼保小連携の例をあげた。もうひとつは、中学校のさらなる魅力化を例示した。
渡具知	10 月の行事について説明。
渡具知	

	次回の定例会は、11月1日（水）13時30分から 中央公民館第3研修室で開催 【閉会】（16時30分）
--	--

	教育長	教育委員
会議録署名者		